

# さがみ

No.98 Apr. 2016



1F 新聞コーナー



図書館スタッフのみなさん

## トピックス

図書館気になるフォト	2
ライブラリートーク	2
READ-19	3
【特集】図書館案内	4、5
私の一押し	6
さがじよ 相女 HEARTFUL STORY	7
サガミコーナー・年間イベント情報・編集後記	8

相模女子大学附属図書館報『さがみ』は、メディア情報学科の学生による企画・編集でお届けしています。楽しく読んでいただければ幸いです。





## 館長室

館長室をご存知でしょうか。

場所も存在も謎に包まれた館長室をお見せしましょう。  
まず、扉を開けて飛び込んでくるのは、シックな館長机です。館長は、一日に一度は必ず館長室を訪れます。館長は、多忙のためいつ訪れるかわからないので会えた人は、ラッキーかも…

図書館  
気になるポイント



## 館長室の不思議な置物



館長室には不思議なものもたくさんあります。今回は、その中から一つご紹介します。手前にある置物は、日本図書館協会建築賞受賞記念の置物で、優れた建築デザインの図書館に贈られる賞だそうです。写真奥は、その時の建築案のイラストで、置物とともに館長室の机横の棚に飾られています。



## ライブラリートーク

スマホやゲーム機がなかった頃、子どもの遊びといえば家の外での野球やサッカー、家でお気に入りの本を読むことでした。私が小学生の頃に住んでいた地域は、実家の周囲に書店もない田舎町で、公共図書館も実家からは遠く、かといって学校の図書館にある本は、ありふれた文部科学省（当時は文部省）推薦のものばかりでおもしろくもなく、小学生が新鮮な内容の本を選んで読むには難しい場所でした。ところが、ある日状況が変わりました。1～2か月に1度、本を積んだ移動図書館の車が近所を巡回するようになったのです。さほど大型の車ではありませんでしたが、小学生が本を選ぶには十分な冊数が並べられており、「次は～日に来るんだよね」と友人と一緒に心待ちにしていたものです。青空の下、車の棚に並んでいる本を手にとって選ぶ感覚には、室内とは違った新鮮さがありました。ちょうど、青空市場で野菜や果物を見て回ると同じ味わいです。車を運転していたのは子どもにも気さくに話しかけてくれるおじさんで、読みたい本をリクエストすると次回の巡回時に用意



してくれる親切な方でした。また、本を選んでいると近所の大人の方と出会うことがよくありました。その時は好きなジャンルの本の話など普段はほとんどしない内容の会話をしますが、そこから相手の意外な面を知ることもあり、印象が変わることもしばしばあったのを覚えています。このようなことも通常の図書館ではなかなか味わえない醍醐味で、移動図書館が来るのを楽しみにしていた理由でもありました。最近見かけなくなった移動図書館ですが、今でもその場面が鮮明に心に浮かぶ少年時代の大切な思い出です。

図書館長 栄養科学部管理栄養学科 樋川 直司

# READ 19

READ-19は、大学生のみなさん(=19才以上)の世界を少しでも広げるためにこんな本を読んでほしい!!という思いを込めて名付けました。

「大学にはこんなに大きな図書館があるのにあんまり使ったことがない」「どんな本を読めば良いかわからない」といったみなさんに、生活デザイン学科の先生方に『学生時代に読んだ本』をテーマに紹介していただきました。

『あすなる物語』 井上 靖 著

皆さんは今、どんな思いで学生生活を送っていますか。学生時代の私は、楽しく充実した時間もあれば、人間関係・勉学・進路について深く思い悩むことも多々ありました。そんな気持ちを抱えていた時に、ふと読み返したのがこの一冊です。目標値を高く持ちながらも一歩一歩進む大切さが詰まっていた。前にさえ向かっていけば、人生焦ることはないのですね。短編小説で読みやすいので是非。



角田千枝先生



吉川ちひろ先生

『ガウディの奇跡 評伝-建築家の愛と苦悩』 北川圭子 著

建築に興味があったので『ガウディの奇跡』を自分で買って読んだことを覚えています。言わずと知れたサグラダ・ファミリアの設計者の評伝です。完成までに数百年ってどういうこと!!という好奇心で読み、アルバイトで貯めたお金でバルセロナまで現物を体験しに行くことに。英語が不得手な私を海外に引っ張り出してくれた一冊…と言いたいところですが、私を動かしたのは留学中だった彼氏。何事も、愛が一番の原動力のようです。

小林り『他人の血』 ボーヴォワール 著 佐藤 朔 翻訳

大学まで往復6時間、スマホの無い時代でしたから車中での読書の時間はいくらかもありました。その頃に読んで印象深い本と言えば、ボーヴォワールの「他人の血」です。主人公の行動に共感し、結果何度も読み返しました。自分とは何か、生きるとはどういう事か、芸術の存在理由は?等々、悩んでいた時期であり、読む度に涙を流しました。実存主義の小説の中の世界観にどこか本質的な共感を覚えたのは確かだったと思います。



小林り先生

『芸術としてのデザイン』 ブルーノ・ムナーリ 著

最近「闇の夜に」という絵本を購入しました。60年前に紙による表現の可能性を試みた本です。美大生だった頃、自分の進路に多くのヒントを与えてくれたブルーノ・ムナーリの「芸術としてのデザイン」の文中に、自分のつくった本としてその内容の一部だけが記されている絵本でした。何十年も過ぎて「デザイナーは美的センスを持ったプランナーである」という著者の言葉に共感を覚えた記憶が甦り、学生時代に出会った本と繋いでくれました。



松島直文先生

門屋博『シリコンバレーの夢』 ポール・L. サッフオ 著

PCが今後の社会に及ぼす影響についての未来予測書です。

刊行後24年たった現在読み返すと、過去の事例を指標に未来を予測する精度に驚かされます。しかし、当時の私がこの本に興味したポイントはそこではなく、全く新しいモノやコトを普及させるために必要な普遍的な法則についてでした。デザインやアート、ビジネスにも通じる新しい視点を学びました。学生の皆さんにも是非読んで欲しいです。PCの現代史を学ぶ資料としても面白いですよ。



門屋博先生

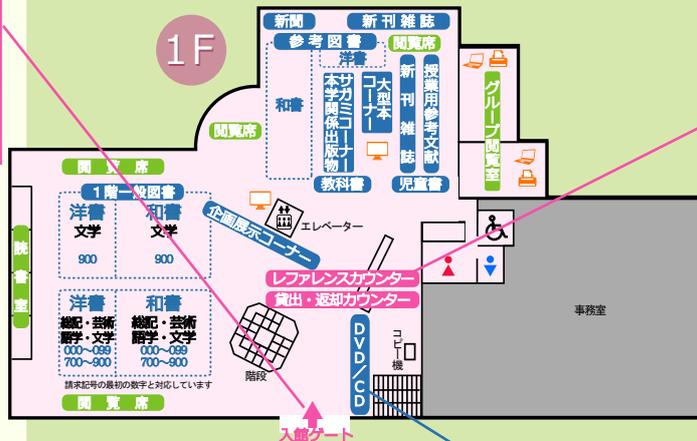
さがっば ジョーの

図書館ナビ



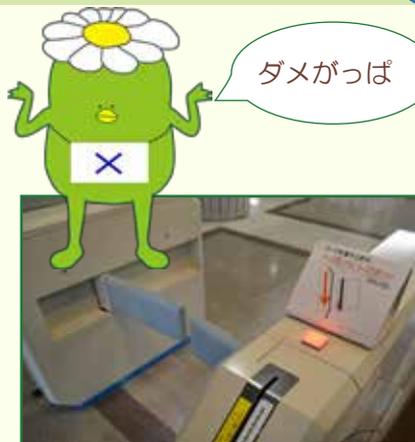
入館ゲート

入館ゲート脇のカードリーダーに学生証を通し、ランプが青く光ればゲートが開きます。



レファレンスカウンター

レポートや課題が出た時、調べ物・探し物のお手伝いをします。



音楽 CD

貸出もできます。

復刻版コーナー

近代文学復刻版コーナーでは、近代文学の名著・名作の初版本を復刻した珍しい資料が数多く展示されています。「坊ちゃん：夏目漱石自筆全原稿」などの近代文学作品や「復刻赤い鳥の本」などの童話と童謡の児童雑誌もあり、他にもシリーズごとに配架されています。館外貸出はできませんが館内なら読むことができます。表紙が鮮やかで見ているだけでも楽しいので、ぜひ手にとってみてください。



マナークイズ

次の行為は図書館で○?×?

回答は8ページがっば



1. 携帯の充電



2. 個室で居眠り



3. ラウンジでの飲食



4. 館内での写真撮影



和室

2F



パソコンコーナー

パソコン 10台、プリンター 5台が設置されています。



ライブラリー・カフェ

文庫、旅行ガイド、料理や手芸、コミックなどの本を集めています。自動販売機が設置され、お茶を飲みながらゆっくり本が読めるスペースです。

全フロア



図書館の資料には、OPAC (Online Public Access Catalog) で探すことができます。パソコンのほか、携帯電話・スマートフォンからも利用できます。



図書館全フロアでは、Wi-Fi ルーターが完備されており、自宅から持ってきたパソコンなども Wi-Fi を使用することができます。Wi-Fi を使用する際には、セキュリティソフトを入れたパソコン、スマートフォンを持って 11 号館のパソコンヘルプデスクに行き、申し込みをしてからご利用ください。



展示コーナー

年に数回、図書館資料を中心にテーマに沿った展示を開催しています。

マイクロ資料室

昔の雑誌や新聞をマイクロ資料として保存している部屋です。室内にある冊子目録で資料を選び、マイクロリーダーという投影機を使用することによって、閲覧・複写ができます。ご利用の際には、レファレンスカウンターで申し込みください。(閲覧無料、複写1枚 ¥ 50)



3F



# 私の一押し

図書館ではおすすめの本・DVDの紹介文を募集しています！  
詳しくはカウンターにおいてあるチラシをご覧ください。

## つめたいよるに

・江國香織作；柳生まち子絵  
・理論社，1989

「好き」をたくさん持っているほど、「好き」をなくしてしまった時の悲しみは深いということ、『デューク』という短編小説を読んだあとに考えさせられた。自分の中の「好き」ということを考えずにはいられない作品である。

日本語日本文学科4年 あさお



## 雪の女王

・ヴラド・バルベ, マキシム・スペシニコフ監督  
・クロックワークス, 2014

某ディズニー作品にすごく似ているタイトルだと思い、観たら本編も似ていてびっくりしましたが登場する動物たちが可愛くて、そこに癒されました。もっとB級だと思ってたけれど映像がとても綺麗でした！

英語文化コミュニケーション学科2年 K. M

## 黒澤明の世界（羅生門）

・Kadokawa 世界名作シネマ全集 第3巻  
・角川書店, 2005

小説とは違い映画オリジナル要素が含まれており、また違った魅力が描かれていました。授業で小説と映画の両方を見て相違点を考察したのですが、両方を見たからこそ気付ける部分も多くあると思います。

日本語日本文学科2年 マキ



## クール×キュート×ユニーク！人気カフェのバリスタが教える ラテアート&デザインカプチーノ Lesson

・河出書房新社, 2014

とっても可愛いラテアートとデザインカプチーノが載っていて、見るだけでも楽しい本です！作り方も基本から書かれているのでカフェ好きの私には読んでとても楽しいし参考になりました♪この本に載っているラテアートとデザインカプチーノを出しているお店も載っていて実際に飲みに行くこともできるので休日に行ってみたいと思いました！ラテやカプチーノを飲んだことのない人でも楽しめる本だと思います！

短期大学部 食物栄養学科2年 森 可奈子

## 身体と境界の人類学

・浮ヶ谷幸代著  
・春風社, 2010

“どうして髪の毛は抜けると汚いものとして認識するのだろうか” そんな日常の中でのふとした疑問。キーワードは、『境界』。人類は目に見えない境界を無意識に認識し、日々生活している。私たちの周りは気づかない境界が張り巡り、さらに気づかぬうちに境界に対しての儀式を私たちは行っている…?! 人類学の世界に引き込まれてしまうだけでなく、自身の視野がぐっと広がります。

人間心理学科4年 鶴





# さが じょ 相女 HEARTFUL STORY

今回は、ラノベ作家として活躍されている卒業生のさきさんにご執筆いただきました。

角川ビーンズ文庫より出版されているさきさんの作品

図書館で後を追いかけている。もちろん、ストーカーなんて怖い話ではない。あくまで本のこと、シリーズ物の長編を借りていると時々あることだ。

どこの誰かは知らないが、その人は私の二冊後を追うように借りている。今日もまた七巻を返して八巻を借りるために棚へと向かえば、先週返した六巻が見当たらなかった。

きつと私の後を追う『誰か』が借りているのだ。それがなんだかおかしくて、さっき返したばかりの七巻もこの人が借りるのだからと考えれば苦笑が漏れる。

どんな人だろう。

男の人だろうか？ 女の人だろうか？

老若男女問わず幅広く支持されているシリーズだけに年齢はおろか性別すら絞ることが出来ず、だからこそ想像が膨らむ。素敵なお男の人だったらどうしよう……なんて、そんな妄想すらしてしまう。

だがいくら想像したところで調べることなんて出来るわけがない。いつ来て借りていつ返しているのかも分からないので棚を見張っていることも出来ないし、そもそもそんなストーカーじみたことをする気にもならない。

いつか会えたらいいなあ……と、そう想いを馳せるだけだ。

そう諦めにも似た感覚で本を手にカウンターへと向かおうとすると、小さく「あれ」と声が聞こえてきた。振り返れば、先程私が見ていた棚の前に男の人が一人。少し困ったような表情の彼の視線が向かう先は、棚に並べられた本。その中でも数冊抜かれて空いたスペースに指が掛かっている。その空欄を作る一冊が私の手に収まっているの言うまでも無く、もしかしてと考えが浮かぶ。

もしかして、彼が私を追いかけていた人だろうか……。

もしもそうなら、彼が借りたいのはさっき私が返した七巻……。

返却された本の処理について詳しいことは分からないが、棚に戻されるのに少し時間がかかるのは知っている。図書館も忙しく、一冊返却されるたびに棚に戻して……なんて時間はかけられないのだから。

つまり私が返した七巻が棚に戻るにはもう少し時間が掛かる。それがあと何分か何時間かなど分からず、そもそも今日返却されたことすら知らない彼が待つわけがない。仕方ないと言いたげに頭を掻いて、彼が踵を返して歩き出そうとする。

「あ、あの……」

咄嗟に声をかけた私の声は震えていて、彼が振り返ったのが分かってても直視出来ずに俯いてしまった。それでも私の手にシリーズの八巻があることに気付いたのか、小さく「その本」と呟く声が聞こえて来た。

変な人だっと思われたらどうしよう。

彼が探しているのが違う本だったらどうしよう。

咄嗟に声を掛けたは良いけれど、なんて話せば良いんだろう……。

考えがグルグルと回り廻りが熱くなるのが分かる。これではまるでたちの悪いナンパのようではないか……と、そんなことを考えれば焦りと後悔すら胸に湧き、早鐘を打つ鼓動を押さえるように胸元で本を抱きしめた。

「その……その本の、な、七巻なら……さっき、私が……」

さっき私が返しましたよ、と。そうハッキリ言いたかったのに私の口から出るのはしどろもどろな言葉でしかない。まだカウンターにあるはずですよと告げて颯爽と去れば格好いいのに、なんて中途半端で情けない。

だけどそんな私に対して彼はしばらく意外そうな表情をしたものの、柔らかに微笑んで「ありがと」と告げてくれた。その言葉に理解して貰えたと思われなかった。良かった、少なくとも変な人とは思われなかった。

そんな安堵と共に頭を下げてそそくさと立ち去ろうとすれば、別れ際に、

「この本、面白いよね」

と声を掛けられた。振り返れば、軽く手を振って微笑んでくれる彼の姿。

その姿に私も小さく笑みを零し、頷いて返した。

卒業生 さき

サガミコーナーには相模女子大学の先生方が執筆された本が納められ、自由に読むことができます。  
 ※ 2015年5月13日～12月31日までに図書館に寄贈されたものを掲載しています。



2015年  
寄贈図書

- 理事長 谷崎昭男著  
 義仲寺: 昭と再建史話  
 義仲寺 請求記号 185||T|| サ 53
- 社会マネジメント学科 宮田稔著  
 ソーシャルメディアの罠  
 彩流社 請求記号 007.3||M|| サ 170
- 英語文化コミュニケーション学科 中林正身訳  
 作家ロレンスは、こう生きた/ジョン・ワーゼン [著]  
 南雲堂 請求記号 930.28||L|| サ 168
- 英語文化コミュニケーション学科 小泉京美著  
 キャリア教育で「人間力」が伸びる:「タイに子ども用  
 車椅子を届けよう!」プロジェクトが示す新たな教育スタイル  
 東方通信社 請求記号 377.9||K|| サ 173
- 日本語日本文学科 南明日香著  
 国境を越えた日本美術史: ジャポニスムから  
 ジャポノロジーへの交流誌 1880-1920  
 藤原書店 請求記号 702.1||M|| サ 121
- 日本語日本文学科 南明日香ほか著  
 板倉鼎・須美子展: よみがえる画家/  
 松戸市教育委員会社会教育課美術館準備室, 田中典子編  
 松戸市教育委員会 請求記号 723.1|||| サ 121
- 卒業生 大野とくよ著  
 桃咲く里: 大野とくよ歌集  
 角川文化振興財団 請求記号 911.168||O|| サ 191
- 卒業生 さき著  
 アルバート家の令嬢は没落をご所望です 2巻  
 KADOKAWA 請求記号 913.6||S|| サ 189

## 年間イベント情報

- 4月  
 イベント 図書館案内ツアー (新入生対象)、OPAC ガイダンス (全学年対象)  
 2階展示コーナー 相模女子大学の歴史～日本女学校・帝国女子専門学校の時代～
- 5月  
 イベント OPAC ガイダンス (全学年対象)、レポート作成ガイダンス (全学年対象)  
 1階企画展示コーナー レポート作成ガイダンス関連本の展示
- 6月  
 イベント レポート作成ガイダンス (全学年対象)、卒業研究のためのガイダンス (卒業年次生対象)  
 リサイクル市<<雑誌・新聞>> (全学年対象)、選書ウィークス (全学年対象)
- 7月  
 イベント 七夕<<短冊に願い事を>> (全学年対象)
- 9月  
 イベント 選書ツアー (全学年対象)
- 10月  
 イベント 選書ウィークス (全学年対象)  
 1階企画展示コーナー 選書ツアーで購入した本の展示
- 11月  
 イベント 卒業研究のためのガイダンス (大学3年生対象)、リサイクル市<<図書>> (全学年対象)  
 1階企画展示コーナー 卒業研究のためのガイダンス関連本の展示
- 12月  
 イベント 企業情報の集め方ガイダンス～就職活動への第1歩～ (全学年対象)  
 クリスマス<<ツリーと関連本の展示>> (全学年対象)  
 1階企画展示コーナー 企業情報の集め方ガイダンス関連本の展示

### ■ 編集後記 ■

編集作業は大変でしたがよい経験となりました。実際の編集よりその前段階が大切だと感じました。図書館報制作に携われてよかったです。(間間) 色合いや文字の大きさ、素材の配置場所など、自分たちで考えながら紙面を作っていく作業が楽しかったです。(椎名) 98号は春らしい色や素材を使用しました。図書館報制作にご協力頂いた方々ありがとうございました。(藤本)



発行 相模女子大学附属図書館 〒252-0383 神奈川県相模原市南区文京2-1-1 電話 042-747-9179  
 編集・デザイン 相模女子大学学芸学部メディア情報学科 4年 藤本名津子 3年 間間真実 椎名理沙子